



平成30年度

掛川市教育振興基本計画(後期)

人づくり構想かけがわ ～教育の光は掛川から～

★基本目標 「夢実現に向かう、心豊かで凛とした市民」の育成

基本方針

- 1 「知性と創造性にすぐれ、豊かな心と健やかな体をそなえた、自己実現を目指す自立した市民」の育成
- 2 「豊かな生涯学習社会の実現に向け、人づくり・まちづくりの担い手としてそれぞれの役割を担い、自らが進んで行動し、地域社会を共に支える市民」の育成

構想推進の基本的な考え

- 「第2次掛川市総合計画」の段階的推進を図る。
- 市民総ぐるみによる教育の振興に努める。
「かけがわ教育の日」「中学校区学園化構想」「かけがわお茶の間宣言」
- 「生涯学習運動」が豊かに花開くまちづくりの一翼を担う。



掛川市教育委員会

〒436-8650 掛川市長谷一丁目1番地の1
TEL0537-21-1109/FAX0537-21-1222

掛川市教育委員会 3つの宝

かけがわ教育の日

平成29年度
第11回かけがわ教育の日

お茶の間で文化・芸術を語ろう
茶エンナーレの掛川で感性豊かな子育てを
平成29年11月18日(土) 掛川市文化会館シアターにて開催され、およそ600人の市民が参加しました。

オープニングアトラクション
「大東ふるさと太鼓」の皆様による和太鼓の迫力ある演奏が行われました。遠州灘海岸をイメージし、寄せては返す波、海に吹く風の音を表現した「海」、大空を縦横無尽に飛び回り、夢と希望を持ったツバメを思い描いた「翼」の2曲を演奏していました。地元伝統芸能の素晴らしさを感じました。

世界一短いスピーチ表彰
過去最多の応募となる9,361作品の中から選ばれた優秀12作品の表彰を行いました。
短い言葉の中に、家族への優しさや感謝の気持ちがいっぱい詰まった作品の朗読は、参加者の心をほっこりさせてくれました。

実演発表
掛川市文化協会大東支部の皆様のご協力により開催された「大浜中キャリアー」、生徒や職員、地域の皆様の思いの場となっています。また、美術作品を作成した大浜中卒業生との交流も行われ、夢を実現した先輩を身近に感じる貴重な機会となりました。当日は、中学生が制作するPepperが上手に発表を行いました。

しずおか市財団対面型壮行会
掛川市の代表として「しずおか市財団対面型」に出場する選手から決意が語られました。これまでの練習の成果を發揮し、選手皆さんの一致団結して自己ベストを出せるよう、会場全体で激励しました。

基調講演
前静岡文化芸術大学学長の熊倉功夫氏より「お茶と食べもの-日本人の暮らし方-」を演題に講演を行いました。
海外で高い評価を得ている和食ですが、日本では、社会構造の変化によって途絶えてしまう可能性が高まっていることに対して、次の世代へ引き継いでいく必要性を強く感じました。

かけがわお茶の間、
熊倉功夫氏と山田教育長が「かけがわお茶の間宣言」の前文を朗読し、最後に教育長の「子育て、人づくりは」のかけ声に、会場全員で「お茶の間から」と唱和しました。

掛川市教育委員会は、我が家の「お茶の間づくり」を広げていきます。

■主催 「かけがわ教育の日」実行委員会・掛川市・掛川市教育委員会
■協力 「かけがわ教育の日」協力団体協議会

中学校区学園化構想

中学校区学園化構想
～ 学校・家庭・地域が連携して子どもを育む教育 ～

保幼小中一貫教育 保幼小中一貫研修会 保幼小中(高)の交流
国・学校支援ボランティア H29 のべ 108,112名 のべ 11,984日

子ども育成支援協議会
【学校支援地域本部とコミュニティ・スクールの性格をもつ組織】

栄川学園 じゅくり考え表現できる子どもと関わり、自分を深める	桜が丘学園 「やま美」「やさしさ」「たくましさ」を持つ子ども	城東学園 最高の心を育み、城東が大好きな子どもの育成
掛東学園 やさしさ、りりしさ、脚立愛	原野谷学園 夢を聞き、りりしく歩む原野谷っ子	大浜学園 子ども高め合い、夢に向かってがんばる子
掛西学園 自分で判断ができ、思いやりの心をもった掛西学園の子	冀北学園 ふるさとを愛し、水東へはばたく子	若つつじ学園 みんなで育てよう！大須賀っ子

市民総ぐるみで子どもを育てましょう！
「かけがわ学園放送(掛川市HP)」から各学園活動を発信中

かけがわお茶の間宣言

「お茶の間」は、新しい言葉を知る私の小さな国語のじゅ業。
家族がわかる野球の話、ほくのエラーを家族は楽しく「ヒット」にかえる。
しょうぎやろう、竹ぶえ作ろう、ナイフでえん茶けずるのもじいじが教えてくれたんだ。
兄弟でチャンネル奪い合っただご飯、だれどけっさく父の一言「ニュースにしろ」
あのね、あのね、おはなししたいことがたくさんあるよ、ほほまねえねじゅんびOK!?

人づくりの土台は、「お茶の間」にあります。誕生から、子育てやしつけなど、人としての在り方を「お茶の間」で学ぶところから始まります。そして、学校や地域、社会に出て、多くの人のかかわりから学び、また「お茶の間」に戻って学びや成長を感じて生まれていきます。「お茶の間」は家族が寄り、語り、学び、伝え、育むところ。お茶の間掛川に住んでいる私たちは、「お茶の間」を今こそぎやかり、家族の団らんから生まれる財産をもとに、豊かな広がりある人づくりにつなげていきます。
ここに私たちが、我が家の「お茶の間」づくりを広げていくことを宣言します。
平成26年1月12日宣言

子どもたちの未来のために、私たちができること

「お茶の間」は、家族と一緒に楽しさ2倍悲しさ半分
インターネットを使わずに、おじいちゃんおばあちゃんに聞いてみよう!!
家に着いて玄関をあける。「ただいま。今日ね…」とささく近況報告発表会。
弟どけんかはおするけれど、だいすきだ。こんどござやさしくするぞ、でもけんか。
みんなが笑うと私も笑う。私が笑うとみんなも笑う。笑顔でつながるコミュニケーション。
お茶の間で、心豊かな子に育ち、親となりて子育て、改めて知る親の深い愛

市民から集めたお茶の間宣言 第2弾(12点) 平成28年11月19日
掛川市教育委員会